

長久手移転20周年
新大学誕生10周年記念

第24回全学同窓会総会・文化講演会

オーストラリアで 「二葉亭四迷のロシア語翻訳」 を研究する

1988年に留学先のロシア(当時はソビエト連邦)からオーストラリアに移住しました。その後二十年余にわたり日本語教師をしながら二葉亭四迷のロシア語翻訳作品を研究してまいりました。

本日は、四迷がロシア語動詞の完了体、不完了体を日本語の「た」形、「ている」形を使っていかに訳し分けたかを中心にお話をしたいと思います。また、オーストラリアでの日本語とロシア語の教育事情も交えながらオーストラリアでの研究生活の一端もお話させていただこうと思っています。

2019年11月3日(日)

午前10時30分～

愛知県立大学 特別講義棟S201

(総会 午前10時に引続き文化講演会)

どなたでも参加できます。

入場無料



講師:コックリル(下野)浩子氏

オーストラリア、クィーンズランド大学名誉研究員

経歴

1955年岐阜県生。愛知県立大学文学部国文科卒業。モスクワのプーシキン記念ロシア語大学にて語学研修。オーストラリアのクィーンズランド大学にて博士号取得。クィーンズランド大学、タスマニア大学、シドニー大学で二十年余にわたり日本語を教え、現在はクィーンズランド大学の名誉研究員として翻訳研究とその実践に携わっています。講演に関する著作として“Style and Narrative in Translations: The Contribution of Futabatei Shimei” (St. Jerome, 2006) と『二葉亭四迷のロシア語翻訳: 逐語訳の内実と文末詞の創出』(法政大学出版局、2015年)があります。

愛知県立大学全学同窓会事務局

TEL 052-838-9894